

## 市民サービス後退の 行政改革について

行政改革大綱により人件費の削減、民間活力の導入、事務事業の見直し、公共用地の処分等が行われています。これは市民サービス切りすてにつながる施策ですが、市はこれからも行革を推進する方向です。

行革推進の一方で駅前のカピル21に図書館と貸館業務を整備する費用に10億円、そして旧平荘湖アクア交流館取り壊し工事に4億数千円が支出されます。市民のために緊急性を要する事業でしょうか。

市民サービスを充実させる立場から、職員定数削減、福祉バス運行事業見直し、敬老祝品・表敬訪問事業の見直し「廃止」、マイナンバーカードのひもつけ拡大、公共施設の削減計画推進の問題について質しました。



取りこわし工事中のアクア交流館

## コロナ感染症拡大に 歯止めを掛ける対策を求めて

東京五輪が更に感染拡大を加速させ、感染者が1日2万人を超える日が続き、そのほとんどが自宅療養となる医療崩壊となりました。

一年半たった今も、日本はPCR検査数が人口比で世界143位の状況です。国民の命を守るはずの行政の責任は重大です。

これは「自然災害」ではなくやるべきことを怠ってきた政治の責任で「人災」であると指摘。「原則自宅療養」を撤回し、感染伝播の鎖を断つため、臨時に大規模医療施設を設置すること、事業所や学校園などでの大規模検査を求めることについて質しました。



PCR検査の様子（イメージ）

# 市民一人ひとりの声を実現する市政に

9月議会  
一般質問から

## 公共施設のありかたがおかしい カピル21ビルの19%を税金で家賃支払い

カピル21ビルには、7階に将棋プラザと加古川駅南子育てプラザが既に入居、この度、6階に図書館、来年には5階に勤労会館・国際交流センター・青少年女性センターの貸館部門、そしてマイナンバーカードの受付事務所も入居しビルの19%を市の施設が占拠することになります。カピル21ビルの入居者がいないためにテナント費用の穴埋めで市が施設移転するのはおかしいと質問。理事者はコンパクトシティ構想で駅周辺の賑わいをつくるためと答弁しました。



カピル21ビル

## 障がい児児童クラブの拡充を

障がい児を持つ親御さんから「市営の児童クラブに入れない、障がい児でも受け入れるデイサービス施設を拡充してほしい」との要望があり質問。放課後の児童は親が見るものという風潮が強く、請願しても否決されていました。今では小学校28校・78クラブに3141名が通っています。しかし、障がい児の市営児童クラブ利用者は34名で、市内外82の民間放課後デイサービスに障がい児等677名が利用していることが判明し、受け入れ態勢の拡充を求めました。



市内の障がい児デイサービス施設

## 原発、気候変動と防災

福井県内には14基の原発があり、運転開始から「40年ルール」を無視して関西電力の原発3基が再稼働へ向かっています。もし、事故が発生すれば宮津市からの被災者を受け入れると聞いていますが、具体的な受け入れ計画について質問しました。「地域防災計画について県から要請が来ることになっているが51カ所を予定しており、生徒がいれば小中学校で受け入れる予定」と回答。

また、災害発生時対策として地滑り箇所の調査とマンホールトイレの設置を要望しました。



高浜原子力発電所

### 令和3年度 第6回 加古川市議会(定例会)日程(案)

議案は市HPにも掲載されます。議会・委員会は9:30開会予定です。

11/30(火)	全議案上程(質疑、付託)	第1日	6(月)	総務教育常任委員会	16(木)	委員会審査報告(質疑、討論、採決) 追加議案上程(即決)	第5日
12/1(水)	一般質問	第2日	7(火)	福祉環境常任委員会			
2(木)	一般質問	第3日	8(水)	建設経済常任委員会			
3(金)	一般質問	第4日	9(木)	常任委員会予備日			

【 請願の締切は11月18日(木)です 】